

全ての子どもの発達を支える行動支援 「前向き行動支援」

公益社団法人 子どもの発達科学研究所
担当: 研究員 石橋 浩美



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

前向き行動支援

学びとは何か

学びとは、半永続的な行動の変化である



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

2

1

2

前向き行動支援

教師(支援者)の仕事は？

- 不適切な行動を減らす？
- 適切な行動を増やす？

例えば…

- 授業中の態度
- 感情コントロール

大抵「不適切な行動」に注目し、
それを減らすように働きかける



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

3

前向き行動支援

今の学校や支援現場での主なアプローチ

不適切な行動を減らすアプローチ

「不適切な行動を見つけて減らす」アプローチ
実はこのアプローチには大きな問題がある



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

4

3

4

前向き行動支援

結局「不適切な行動」は減らない

1. 『適切な行動』が現れるとは限らないうえに、別の『不適切な行動』に変化するリスクが高い(より大問題)

例えば…

- 手遊び ➡ ちょっかい ➡ 立ち歩き ➡ 飛び出し



前向き行動支援

結局「不適切な行動」は減らない

2. 「叱る」「注意する」ことによる様々な副作用
近接領域弱法の法則、弁別の法則、カウンター行動など

厳しい方法には副作用がある

前向き行動支援

「叱る」こと(特に体罰・叱責)のリスク

「叱る」ことでその行動はその場では減る
しかし…

- 「叱った人」や「叱られた活動」が嫌なものになる。**派生の原理**
- 子どもの攻撃性を高める場合がある。**反発の原理**
- 「叱る」ことを経験した直前の状況の全て(例:叱った人が現れる)が行動を抑制する。つまり、叱った人が現れない限り、行動は抑制されない。**弁別の原理**
- **パワーコントロールをモデルから学ぶ。**

前向き行動支援

結局「不適切な行動」は減らない

3. 『不適切な行動』に教師が注目
注目＝報酬、報酬サイクルができてしまう

子どもが報酬として認識していなくても、
不適切な行動が増えてしまう可能性がある

前向き行動支援

子どもが好ましくない行動をすると叱る

(例えば、活動中に友達にちょっかいを出しているとき)

注目すること

子どもが好ましい行動をしていると叱らない

(例えば、活動中に、活動に参加しているとき)

無視すること

注目は褒める(報酬)と同じです。どうなると思いますか？

注目＝報酬、報酬サイクルができてしまう

前向き行動支援

「不適切な行動を減らす」
アプローチの問題

- 多くの場合『不適切な行動』は減らない
- 『不適切な行動』が起こることを前提としている

不適切な行動を減らすアプローチは成功しない

前向き行動支援

教師(支援者)の仕事とは？

- 不適切な行動を減らす？ ➡ NG
- 不適切な行動を
適切な行動に置き換える？ ➡ 十分とは言えない

前向き行動支援

教師(支援者)の仕事とは？

- 適切な行動を増やすこと

適切な行動が増えれば
不適切な行動は勝手に減る！

前向き行動支援

なぜ適切な行動を増やせばいいのか

- 「不適切な行動」には対になる「適切な行動」がある
- 「不適切な行動」と「適切な行動」は**同時に起きない**

例えば…

- 授業中、指示に従う
 - 授業中、指示に従わない
- } → 同時には成立しない

前向き行動支援

前向き行動支援(PBS)

「適切な行動」を増やせば、
自然と「不適切な行動」は減る

前向き行動支援
(Positive Behavior Supports)

前向き行動支援

「不適切な行動」と「適切な行動」

減らしたいと考える不適切な行動には、
必ずその対となる適切な行動がある

不適切な行動	適切な行動
勝手に発言する	許可を得て発言する
友達をたたく	友達と話し合いをする
不安に泣く	不安をコントロール、処理する
マナー違反	マナーを守る

前向き行動支援

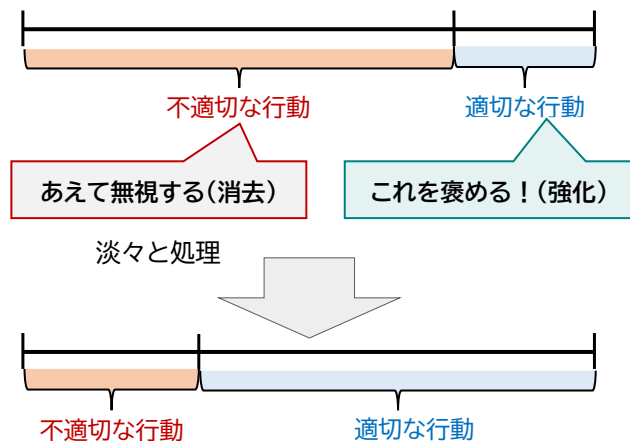
「行動を増やす／減らす」のメカニズム

こんなことってありませんか？

- 授業の邪魔をすると叱る
不適切な行動 ← 無視
- しっかり授業を受けていると叱らない
適切な行動 ← 注目

適切な行動ほど注目し、増やしていく

前向き行動支援



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

17

前向き行動支援

「ほめる」とは何ですか？

- 定義づけてみましょう
- 難しかったら、例を上げてみましょう
「私がやった〇〇という行動は、`ほめる、`になっていたと思うよ」

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

18

前向き行動支援

「ほめる」とは？

ターゲットとなっている子どもの行動を増やす(もしくは減らさない)ことができる支援者の働きかけ

- よって、支援者は「ほめる」つもりでも、「ほめる」になっていない場合がある
- 逆に、支援者が「ほめている」つもりがなくても(例えば、逆に叱っているつもりでも)「ほめる」になってしまうことがある

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

19

前向き行動支援

「前向き行動支援」のやり方と効果

1. 「やめさせたい行動」と対になる「適切な行動」を明確化
2. 「適切な行動」=「増やしたい行動」を周りの支援者と共有
3. 「適切な行動」を子どもと共有
4. 「適切な行動」への注目に注力

※ 「不適切な行動」は淡々と処理

集団の行動に対しても活用できる手法

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

20

17

18

19

20

前向き行動支援

前向き行動支援で子どもを育てるメリット

みんな、私たちの大切な子ども

- 「良い行動を増やす」ことは、大人にとっても子どもにとっても嬉しいことであり、成功体験
- 良い行動＝向社会的行動は、様々なリスクを低減する可能性が高い

21

前向き行動支援

まとめ

- 必要なのは「行動」を変えること
- 不適切な行動を減らすアプローチは成功しない
- 適切な行動が増えれば、不適切な行動は減る
- 支援者の仕事は「前向き行動支援」
- 良い行動＝向社会的行動は様々なリスクを低減する

22

23